

【開催案内 2012/10/10】 NISTEP/GRIPS/JST-RISTEX 共催講演会

「Disruptive Emergency — 破壊的緊急事態時に如何にして信頼を深めるのか」

科学技術政策研究所(NISTEP)、政策研究大学院大学(GRIPS)及び(独)科学技術振興機構社会技術研究開発センター(JST-RISTEX)共催による講演会を、下記のとおり開催致します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 演題: 「Disruptive Emergency — 破壊的緊急事態時に如何にして信頼を深めるのか」
- 講師: Jan Staman (ヤン・スタマン) オランダ ラテナウ研究所 所長
- 日時: 2012年10月10日(水) 10:00 am ~ 11:30 am (受付開始: 午前9時30分)
- 場所: 新霞が関ビル LB階 201D号室 科学技術政策研究所会議室(地図: 裏面御参照)
- 言語: 英語(逐次通訳あり)
- ◆参加申込方法: ご氏名・ご所属先・ご連絡先をご明示の上 lecture@ristex.jp まで ◆締切: 10/9(月)17時
(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター(担当: 新田・真田) tel: 03-5214-0133

【講演趣旨】

2011年3月に発生した東日本大震災のみならず、世界中で発生する緊急事態の際に起こり得る組織的欠陥や、システム故障に対するアプローチに加え、国民が持つ深い不信に対するガバナンスのあり方、科学者の役割やあり方等、破壊的緊急事態時において如何にして信頼を深めるかについてご講演いただきます。

また、同氏の獣医学や食品衛生問題などについての長年にわたる深いご知見に基づき、緊急事態に際して肝心となる対応に加え、科学的コミュニケーションの重要性についてもお話いただきます。

さらに、政策形成に重点を置き、市民参加型のテクノロジーアセスメント手法がどのように緊急時に利用されるのか、また、その社会的インパクトについてのお話もいただきます。

<講師経歴>

2002年より現職。同研究所は王立科学アカデミー内に設置されており、科学技術における政策形成や社会の意見形成への働きかけを目的としたテクノロジーアセスメントを中心とした研究を実施。

同氏は獣医学と法律を修め、大学を卒業後8年間にわたりユトレヒト大学にて獣医学の研究に従事。その後、ハーグにあるオランダ農業・自然・食品安全省(LNV)における様々な職務に従事。



Jan Staman was appointed to head the Rathenau Institute in

2002. As its director, he is responsible for all aspects of the day-to-day work of the institute.

Jan studied veterinary medicine and (Dutch) law. After graduation, he spent eight years on the research staff of Utrecht University's Faculty of Veterinary Medicine (Department of Domestic Animals) before going on to hold various appointments at the Ministry of Agriculture, Nature and Food Quality in The Hague.

○会場へのアクセス

駅名	出口	所要時間
銀座線 虎ノ門駅	5	徒歩5分
丸の内線 霞ヶ関駅	A13	徒歩8分
千代田線 霞ヶ関駅	A13	徒歩8分
日比谷線 霞ヶ関駅	A13	徒歩8分
南北線 溜池山王駅	9	徒歩7分

○地 図:新霞が関ビルLB階【NISTEP会議室(201D号室)】

(東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル LB階)



○LB階平面図

